



会 員 各 位

関西大学科学技術振興会
会 長 寺 内 俊 太 郎

平成19年度(第8回)研究会の開催について(ご案内)

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の運営、事業の遂行に際しまして、何かとご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、当振興会の平成19年度(第8回)研究会を、下記のとおり開催致したく存じますので、ご多忙中とは存じますがお繰り合わせのうえ、是非ご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

- 日 時 **平成20年2月23日(土) 14:00~**
- 場 所 関西大学学術フロンティア・センター 3階 会議室

研究会

今年度における最終の開催となる研究会プログラムは、学外で受賞の大学院生による研究発表、最近の産学連携の取り組み報告、今年度の活動報告、および「関西大学月が丘住宅(QOL改善提案モデル)」の見学で開催します。

1. 学外で受賞の大学院生による研究発表 (発表3人・質疑応答 各約25分)

(1) 「鋼板プレストレスによる覆工板の長スパン化」

社団法人日本鋼構造協会 鋼構造シンポジウム2007 アカデミーセッション応募 優秀論文

関西大学工学研究科 大 爺 健 司 氏 (オヤ ケジ)

指導教授; 環境・エネルギー・社会 研究部門 坂野 昌弘 環境都市工学部教授

(2) 「太陽電池の未来アイデアコンテスト」応募 佳作 富士電機株

関西大学工学研究科 西川 明 良 氏; 「太陽光発電を用いた移動可能な小型浄水システムの提案」

関西大学機械システム工学科 吉 輝 明 氏; 「太陽電池による貯水ダムの水面の有効活用」

指導教授; 生命・人間・ロボティクス 研究部門 倉田 純一 システム理工学部准教授

2. 報告

① 「最近の産学連携の取り組み」 (5分)

産学官連携・知財センター 田中久仁雄・産学官連携コーディネーター

② 「科学技術振興会2007年度活動報告」(5分) 社会連携センター事務室(先端機構)本多忠男・振興会事務局

見 学 関西大学月が丘住宅(QOL改善提案モデル) TAXI移動 吹田市千里山月が丘22番2号

見学先は、「高度福祉社会のQOL改善に寄与する生活支援工学構築のための実践的研究」のテーマで「私立大学高度化推進事業学術フロンティア推進事業」に採択され、千里山キャンパス近辺に実験住宅としてH19.2竣工、主管研究員は内山寛信機構長です。

同研究員であるシステム理工学部 倉田純一准教授から、高齢化社会にあって今注目を浴びている生活支援工学研究の取り組みについてお話を戴くようお願いしております。



交流会 TAXI移動 (場所) 100周年記念会館「桃源」

◇ 出欠連絡文書以外の同封資料

- ① 関西大学月が丘住宅(QOL改善提案モデル) ② 「What's New From ASCIKU」№5
- ③ 会員情報; 大阪冶金興業株式会社の新聞記事 ④ 基盤技術の新たな挑戦、進化するものづくり技術
- ⑤ 「DLCコーティング」フォローアップフォーラム2007-ものづくりを支える基盤技術の高度化-

以 上

(追伸)

1. 準備の都合上、ご出席の有無を同封の「FAX送付状」またはE-mail(アドレス: ordist@jm.kansai-u.ac.jp)にて、**2月18日(月)まで**にお知らせくださいますようお願い致します。
2. **交流会にご参加の場合**は、研究会の当日、受付にて2,000円をお支払い下さいますようお願い致します。